

○ 第40回かび毒・自然毒等専門調査会

日時：平成28年7月28日（木）10：02～11：50

議事概要：

フモニシンの食品健康影響評価について

- ・事務局より、評価対象物質の概要、評価対象、慢性毒性・発がん性、遺伝毒性等について説明がなされた。
- ・評価の対象は、フモニシンB1、B2、B3とされた。
- ・フモニシンB1、B2、B3について、遺伝毒性はないと結論付けられた。
- ・打ち合わせメンバーを指名し、さらに毒性の知見の整理を行い、TDI（耐容一日摂取量）の設定を検討することとされた。

\*フモニシン：主に *Fusarium* 属が産生するかび毒。

ウマで白質脳軟化症、ブタで肺水腫といった臨床症状を示し、ヒトでは神経管閉鎖障害や食道がんとの関係が示唆されている。